

## 学校運営協議会 議事録

校名	府立難波支援学校
校長名	室田 澄江

開催日時	令和7年2月13日(木) 13:30～14:45
開催場所	府立難波支援学校 校長室
出席者(委員)	澤村 会長、上宮 副会長、谷口 委員、内田 委員
出席者(学校)	室田 校長、錦織 教頭、石原 教頭、松下 首席、吉村 首席、植松 首席、木村 事務
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価、 令和6年度 難波支援学校 学校教育自己診断について(結果) 令和6年度 学校教育自己診断(分析) 令和6年度 授業アンケート 令和7年度 学校経営計画及び学校評価(案)
備考	

## 議題等(次第順)

- ・学校自己評価について
- ・授業アンケートについて
- ・令和7年度学校経営計画(案)について

## 協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 令和6年度 学校評価について、各委員から以下の意見が出された。
- (防災について)
- ・防災については具体的に考えれば考えるほど論点が広がっていく。議論が深まっており、よいことだと思う。
  - ・地域と学校とPTAの協力が重要。いざというとき学校の状況等を地域が知っておかないといけないと思う。
  - ・コロナも落ち着いてきたので、改めて、防災に関して地域との協力体制を構築することから始めてほしい。
- (自己診断アンケート回答等について)
- ・学部ごとコースごとに分析していただき、何か特色が出ればよいと思うので、そういう分析もお願いしたい。
  - ・保護者、児童生徒の回答率が下がったのは、デジタルによる入力が一因だということがよくわかった。
  - ・子どもに関する情報が少ないのが回答率が低い原因の一つだと思う。日頃学校での様子を見ていない保護者にとっては答えづらいものがある。もっとわかりやすい質問にさせていただければと思う。
- 令和6年度 授業アンケートについて、各委員から以下の意見が出された。
- ・小学部の方が高評価の印象がある。中学部、高等部と進むにつれて子どもの成長度に違いが生じるので、統一した内容での授業が難しいことも一つの要因だと思う。
  - ・進路の選択肢が増え、生徒が外とで行き来したりして、先生方も従来のやり方ではうまくいかないで困っている様子が回答の中に垣間見られる。
  - ・サブの先生の授業への入り方が難しいという話を聞く。メインの先生が多忙なのも一つの要因かと思っていたが、アンケートの回答をみて、ますます多忙が原因だと意を強くした。
  - ・「寄り添った丁寧な指導、支援がされていた」という回答をみると、子どもたちをしっかりとみていることが保護者にも伝わっているなどという感じがした。
  - ・モニターを使って体操している授業をみたが、すごくよい取り組みだと思った。
- 令和7年度 学校経営計画(案)について、各委員から以下の意見が出された。
- ・他の学校現場をみても「心の病」を患っている人が多いように思う。民間所でもメンタル不調で長期休養をとる人が多いと聞く。管理職は職員に声かけをして話を聞くように務めてほしい。
  - ・次の進路先での就労支援につなげるため、高等部でしっかりアセスメントをしていただければ助かります。
  - ・アセスメントについてあまり理解していない保護者が多いように思う。内容を説明して理解してもらえるようにしてほしいと思う。
  - ・「やさしい日本語」をぜひ進めてほしい。外国にルーツを持つ子どもが増えている。難波支援にも外国にルーツを持つ子どもが増えると思うが、よろしくお願ひしたい。

## 次回の会議日程

日時	令和7年度1学期中に開催の方向で調整予定
会場	難波支援学校(具体的な会議室は未定)